

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2025年 第13週（3月24日～3月30日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	2人	類型	患者 1人、 無症状病原体保有者 1人
		血清群	O157 1人、不明 1人
腸チフス	1人	推定感染地域	不明
四類感染症 E型肝炎	2人	推定感染地域	国内 1人、不明 1人
レジオネラ症	2人	病型	肺炎型 2人
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1人	菌種	<i>Klebsiella</i> sp.
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2人	血清群	A群 1人、B群 1人
後天性免疫不全症候群	1人	病型	AIDS
侵襲性肺炎球菌感染症	7人		
水痘（入院例）	1人	病型	臨床診断例
梅毒	6人	病型	早期顕症Ⅰ期 3人、 早期顕症Ⅱ期 2人、 無症状病原体保有者 1人
百日咳	23人	年齢階級	0歳 1人、6歳 1人、 8歳 2人、9歳 1人、 10歳代 15人、40歳代 2人、 50歳代 1人
麻疹	1人	病型	検査診断例

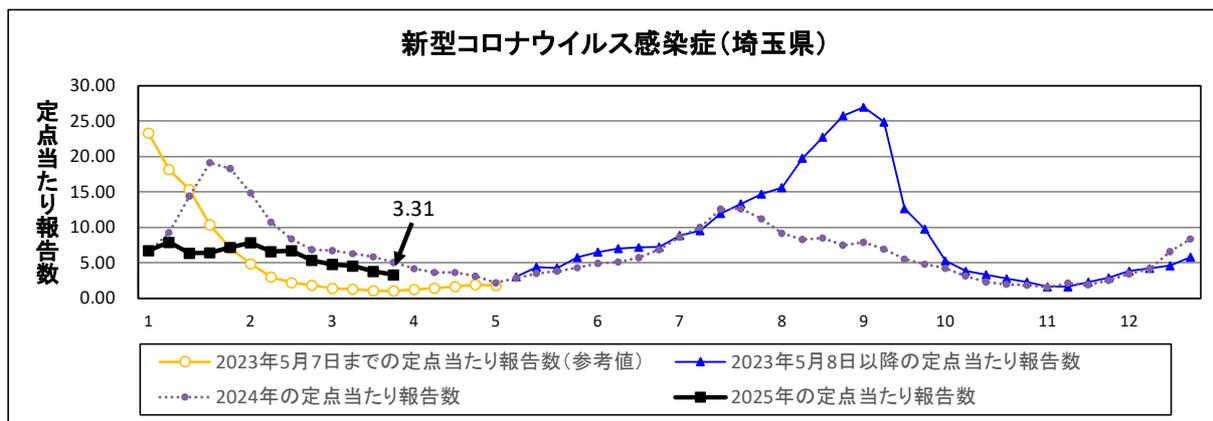
新型コロナウイルス感染症（3.79→3.31:図1）の定点当たり報告数は、第7週以降緩やかな減少傾向にある。保健所別では、幸手（6.23）保健所管内からの報告が多い。基幹定点における**入院患者**の報告は27人（前週40人）であり、年齢階級別では、70歳以上が約67%であった。**伝染性紅斑**（1.30→1.43:図2-1,2）の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに増加した。保健所別では、春日部（2.00→3.83）、熊谷（1.75→3.63）保健所管内で大きく増加し、越谷市（2.75）保健所管内からの報告も多い。**感染性胃腸炎**（10.33*→8.82:図3）の定点当たり報告数は、前週に引き続き減少したものの、やや多い状況にある。保健所別では、春日部（17.67）保健所管内からの報告が非常に多く、さいたま市（13.36）、川口市（12.77）保健所管内からの報告も多い。**水痘**（0.73*→0.66:図4）の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であり、やや多い状況にある。保健所別では、川越市（0.63*→1.50）保健所管内で大きく増加した。眼科定点報告疾患では、**急性出血性結膜炎** 18人、**流行性角結膜炎** 24人の報告があった。基幹定点報告疾患では、**マイコプラズマ肺炎** 8人、**感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）** 4人（図5）、**インフルエンザ（入院）** 2人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL: <http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-ids.html>）で御覧になれます。

* 遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第13週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2-1 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移

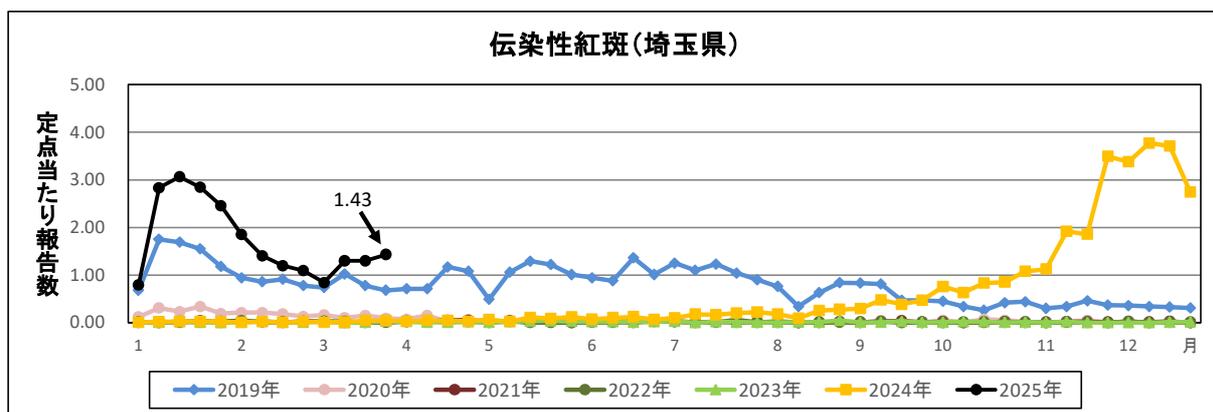


図2-2 伝染性紅斑の保健所別流行状況の推移（2025年第11週～第13週）

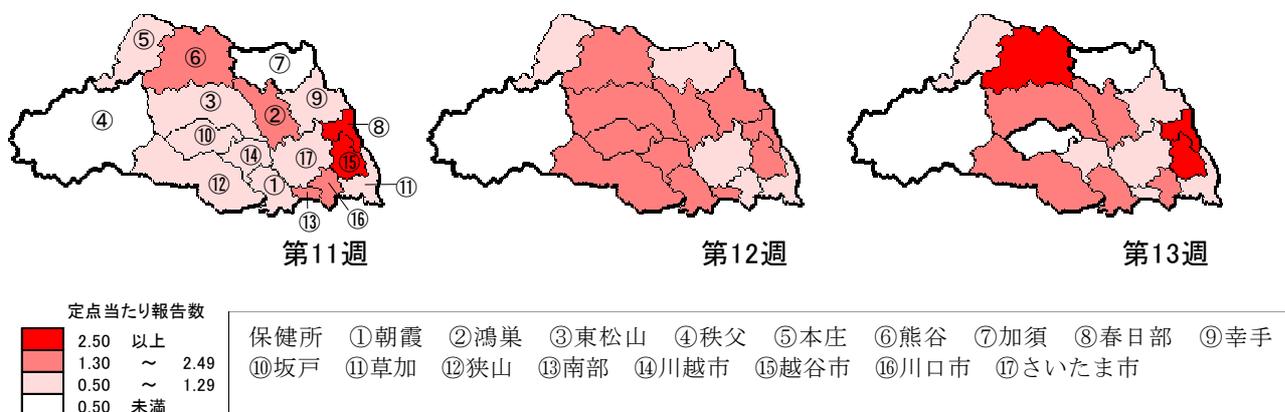


図3 感染性胃腸炎の定点当たり報告数の推移

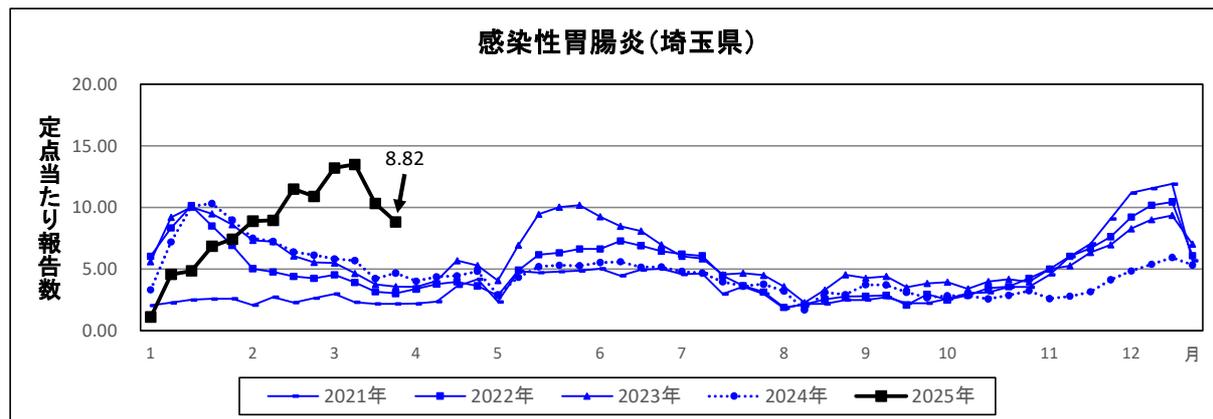


図4 水痘の定点当たり報告数の推移

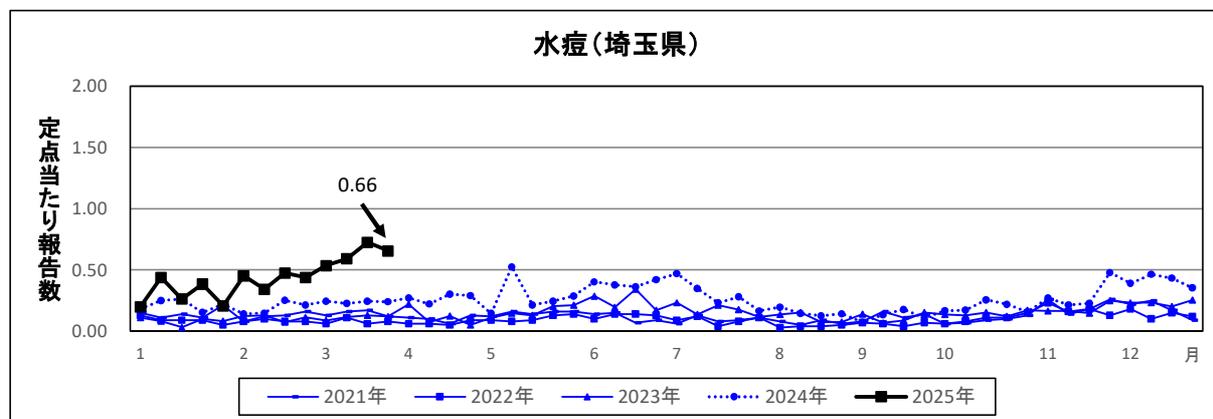
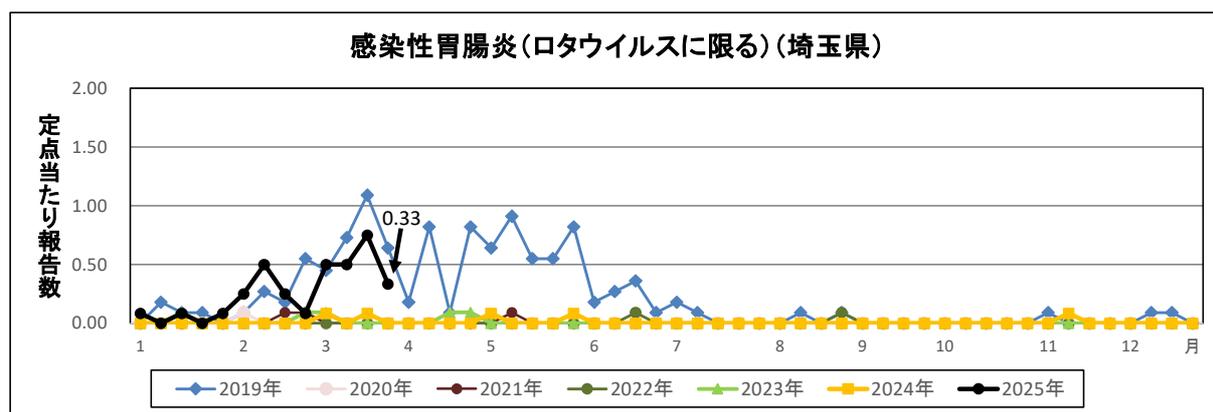


図5 感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第13週)

(2025年4月1日 15:15集計)

	今週 届出	累 計	2024年 累計		今週 届出	累 計	2024年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*1	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス	1	1	2
細菌性赤痢			2	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症	2	12	183				
四類感染症							
E型肝炎	2	6	39	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ*(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎		3	4	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			1
エムボックス				日本脳炎			1
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病				Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			1
キャサナル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ボツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			3
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			1
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			1
チクングニア熱				レジオネラ症	2	19	141
つつが虫病		1	3	レプトスピラ症			1
デング熱			11	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢		3	26	侵襲性肺炎球菌感染症	7	52	97
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		2	17	水痘(入院例に限る)	1	4	5
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	29	103	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			1	梅毒	6	104	477
急性脳炎		10	28	播種性クリプトコックス症		2	8
クリプトスポリジウム症		1		破傷風		2	2
クロイツフェルト・ヤコブ病		3	2	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	17	108	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2	
後天性免疫不全症候群	1	13	33	百日咳	23	180	172
ジアルジア症				風しん			1
侵襲性インフルエンザ ^a 菌感染症		8	30	麻しん	1	5	8
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	1	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2025年第13週

3月24日~3月30日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス 感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症												#2		#3	#3			
全 県	報告数 476	860	119	31	399	1,438	107	13	233	38	2	8	18	24	-	-	8	-	4	2	27	
	1.83	3.31	0.73	0.19	2.45	8.82	0.66	0.08	1.43	0.23	0.01	0.05	0.43	0.57	-	-	0.67	-	0.33	0.17	2.25	
朝 霞	報告数 49	78	12	4	44	144	18	2	22	3	1	-	-	1	-	-	2	-	1	2	1	
	2.13	3.39	0.80	0.27	2.93	9.60	1.20	0.13	1.47	0.20	0.07	-	-	0.25	-	-	2.00	-	1.00	2.00	1.00	
鴻 巣	報告数 29	82	9	3	34	100	5	-	22	5	-	1	-	7	*	*	*	*	*	*	*	
	1.53	4.32	0.75	0.25	2.83	8.33	0.42	-	1.83	0.42	-	0.08	-	2.33	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数 27	41	2	-	4	40	2	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3.38	5.13	0.40	-	0.80	8.00	0.40	0.20	1.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秩 父	報告数 9	14	2	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	
	1.80	2.80	0.67	-	0.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	
本 庄	報告数 16	15	-	1	1	13	2	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2.29	2.14	-	0.25	0.25	3.25	0.50	0.25	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊 谷	報告数 27	50	11	1	5	78	1	-	29	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5	
	2.08	3.85	1.38	0.13	0.63	9.75	0.13	-	3.63	0.25	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	5.00	
加 須	報告数 14	19	-	2	4	16	-	-	1	1	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	2	
	1.40	1.90	-	0.33	0.67	2.67	-	-	0.17	0.17	-	-	-	2.00	-	-	2.00	-	-	-	2.00	
春 日 部	報告数 10	36	3	5	26	106	-	1	23	4	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	1.00	3.60	0.50	0.83	4.33	17.67	-	0.17	3.83	0.67	-	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数 23	81	13	3	23	51	-	-	6	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	1.77	6.23	1.63	0.38	2.88	6.38	-	-	0.75	0.13	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数 19	49	4	-	7	49	2	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
	1.90	4.90	0.67	-	1.17	8.17	0.33	-	0.17	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	
草 加	報告数 44	86	6	1	24	92	5	2	11	-	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*	
	2.32	4.53	0.50	0.08	2.00	7.67	0.42	0.17	0.92	-	-	-	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数 59	112	12	2	53	71	10	1	24	5	-	1	17	1	-	-	1	-	2	-	-	
	2.36	4.48	0.75	0.13	3.31	4.44	0.63	0.06	1.50	0.31	-	0.06	3.40	0.20	-	-	1.00	-	2.00	-	-	
南 部	報告数 10	26	14	-	53	48	3	4	4	3	-	-	-	1	-	-	2	-	1	-	2	
	1.25	3.25	2.80	-	10.60	9.60	0.60	0.80	0.80	0.60	-	-	-	1.00	-	-	2.00	-	1.00	-	2.00	
川 越 市	報告数 15	32	-	1	25	39	12	-	8	-	1	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
	1.07	2.29	-	0.13	3.13	4.88	1.50	-	1.00	-	0.13	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数 29	44	1	3	8	51	6	-	22	4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
	2.23	3.38	0.13	0.38	1.00	6.38	0.75	-	2.75	0.50	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	2.00	
川 口 市	報告数 26	37	11	1	34	166	12	-	19	2	-	2	1	3	-	-	-	-	-	-	1	
	1.30	1.85	0.85	0.08	2.62	12.77	0.92	-	1.46	0.15	-	0.15	0.25	0.75	-	-	-	-	-	-	1.00	
さいたま市	報告数 70	58	19	4	52	374	28	1	28	8	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	10	
	1.63	1.35	0.68	0.14	1.86	13.36	1.00	0.04	1.00	0.29	-	0.04	-	0.78	-	-	-	-	-	-	10.00	

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

4月

1日

14:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)	報告患者数																				
	年齢別 (2025年第13週 3月24日～3月30日)																				
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	476	-	7	18	16	25	15	20	29	23	20	22	128	32	29	43	27	8	4	6	4
新型コロナウイルス感染症	860	6	13	17	13	10	8	9	16	7	5	6	52	49	75	91	96	121	92	79	95
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	119	20	26	39	21	9	1	1	1	1	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	31	-	-	7	1	4	6	3	2	2	1	1	1	-	3						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	399	-	-	8	19	33	54	50	51	47	33	27	58	5	14						
感染性胃腸炎	1,438	13	64	113	133	129	136	122	119	89	85	72	196	29	138						
水痘	107	-	-	1	2	6	6	9	5	7	17	17	36	1	-						
手足口病	13	-	-	3	3	1	1	1	2	-	2	-	-	-	-						
伝染性紅斑	233	-	1	6	12	27	39	32	53	16	17	21	8	-	1						
突発性発しん	38	-	8	22	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	8	-	-	-	-	-	2	-	1	2	2	-	1	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	18	1	1	-	3	2	1	3	-	-	-	-	-	-	1	3	1	2	-	-	
流行性角結膜炎	24	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2	2	1	3	6	3	4	-	1	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	8	-	1	4	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	4	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1			
新型コロナウイルス感染症(入院)	27	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	3	-	1	2	18				

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第11週 (3月10日～3月16日)

令和7年4月2日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は新潟県(5.86)、長野県(5.36)、沖縄県(4.96)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は127例と前週と比較して減少した。都道府県別では34都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(6例)、1～9歳(33例)、10代(11例)、20代(2例)、30代(2例)、40代(4例)、50代(6例)、60代(15例)、70代(17例)、80歳以上(31例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は茨城県(6.39)、千葉県(5.89)、佐賀県(5.87)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,568例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(35例)、1～9歳(25例)、10代(10例)、20代(11例)、30代(28例)、40代(30例)、50代(81例)、60代(121例)、70代(388例)、80歳以上(839例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山口県(5.30)、愛媛県(4.00)、鹿児島県(3.74)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.10)、福島県(0.69)、島根県(0.61)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は富山県(5.76)、茨城県(5.40)、鳥取県(4.74)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(21.92)、愛媛県(19.28)、香川県(18.39)である。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県(0.20)、沖縄県(0.16)、山形県(0.15)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は富山県(2.23)、青森県(2.16)、山形県(1.88)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は富山県(0.07)、石川県(0.07)、熊本県(0.06)、千葉県(0.05)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は岡山県(0.11)、和歌山県(0.10)、宮城県(0.09)、千葉県(0.09)である。

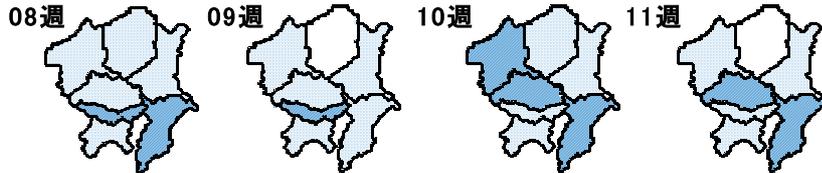
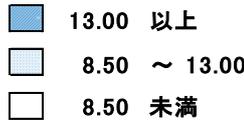
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は青森県(1.33)、福井県(1.00)、秋田県(0.75)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。24都道府県から91例報告があり、年齢群別では0歳(2例)、1～4歳(18例)、5～9歳(53例)、10代(17例)、60代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年 第11週(3月10日～3月16日):通巻第27巻 第11号 より

<関東情報>

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、千葉県(13.75)、埼玉県(13.50)からの報告が多い。

感染性胃腸炎



2025年 11週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 10,960 定点当たり 2.23	3,740 2.46	230 1.92	313 4.12	240 2.86	572 2.19	646 3.20	865 2.07	874 2.42
新型コロナウイルス感染症	報告数 18,927 定点当たり 3.85	6,320 4.15	767 6.39	396 5.21	414 4.93	1,189 4.56	1,190 5.89	1,133 2.71	1,231 3.41
RSウイルス感染症	報告数 4,611 定点当たり 1.48	775 0.81	42 0.56	45 0.94	75 1.44	202 1.23	97 0.78	141 0.54	173 0.77
咽頭結膜熱	報告数 883 定点当たり 0.28	165 0.17	27 0.36	7 0.15	12 0.23	42 0.26	27 0.22	31 0.12	19 0.08
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 7,273 定点当たり 2.33	2,376 2.49	405 5.40	94 1.96	56 1.08	434 2.65	380 3.04	623 2.37	384 1.70
感染性胃腸炎	報告数 34,609 定点当たり 11.10	11,442 12.01	719 9.59	407 8.48	642 12.35	2,214 13.50	1,719 13.75	3,312 12.59	2,429 10.75
水痘	報告数 844 定点当たり 0.27	424 0.44	21 0.28	11 0.23	22 0.42	97 0.59	22 0.18	145 0.55	106 0.47
手足口病	報告数 147 定点当たり 0.05	34 0.04	1 0.01	1 0.02	4 0.08	10 0.06	4 0.03	12 0.05	2 0.01
伝染性紅斑	報告数 2,516 定点当たり 0.81	999 1.05	77 1.03	55 1.15	53 1.02	213 1.30	188 1.50	230 0.87	183 0.81
突発性発しん	報告数 670 定点当たり 0.21	192 0.20	10 0.13	12 0.25	10 0.19	34 0.21	22 0.18	59 0.22	45 0.20
ヘルパンギーナ	報告数 37 定点当たり 0.01	16 0.02	-	-	2 0.04	2 0.01	6 0.05	4 0.02	2 0.01
流行性耳下腺炎	報告数 121 定点当たり 0.04	57 0.06	4 0.05	1 0.02	4 0.08	12 0.07	11 0.09	8 0.03	17 0.08
急性出血性結膜炎	報告数 39 定点当たり 0.06	11 0.05	-	-	-	7 0.17	3 0.09	-	1 0.02
流行性角結膜炎	報告数 625 定点当たり 0.89	219 1.04	65 3.82	8 0.67	12 0.86	29 0.69	43 1.23	20 0.51	42 0.82
細菌性髄膜炎 #2	報告数 7 定点当たり 0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数 13 定点当たり 0.03	3 0.03	-	-	-	-	-	-	3 0.23
マイコプラズマ肺炎	報告数 138 定点当たり 0.29	17 0.19	4 0.31	-	2 0.22	4 0.33	1 0.11	3 0.12	3 0.23
クラミジア肺炎 #3	報告数 2 定点当たり 0.00	1 0.01	-	-	-	-	-	1 0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数 91 定点当たり 0.19	19 0.22	1 0.08	-	1 0.11	6 0.50	-	7 0.28	4 0.31

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

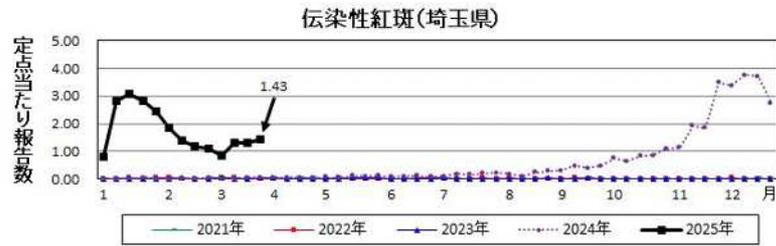
- 感染症発生動向調査 2025年**
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第1週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第2週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第3週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第4週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第5週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第6週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第7週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第8週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第9週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第10週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第11週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第12週](#)

感染症の流行状況 2025年 第13週

2025年第13週（3月24日～3月30日）の要点

[伝染性紅斑](#)の定点当たり報告数は1.43で、前週と比較してわずかに増加しました。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	↓	—	伝染性紅斑（りんご病）	↑	★★★★
RSウイルス感染症	↓	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	↓	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	↓	★★★★	急性出血性結膜炎	↑	★★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。

